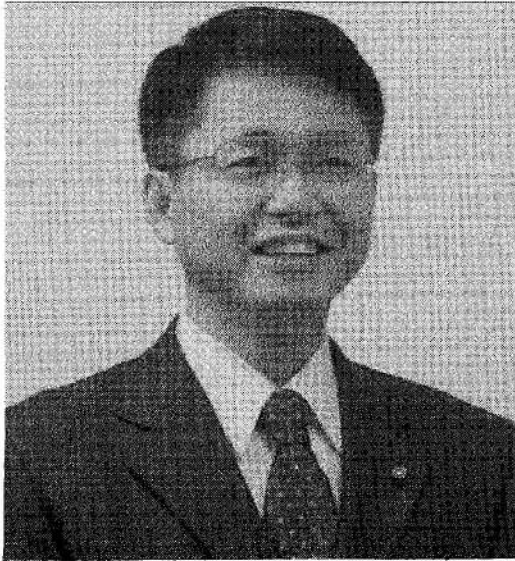
	<h1>誠心ファミリー</h1>	第 13 号	発行日 平成19年6月1日(金)
			発行者 誠心会会長 越智齊 呉市本通6-2-23 ☎/FAX 0823-25-0460 谷本誠一 E-mail: sss2001@nifty.com http://homepage2.nifty.com/sss2001/

薄氷踏む勝利！改革の灯を消さず 政治倫理の確立こそ我が使命、原点に立ち返って

▼呉市議会議員 谷本誠一



一週間という短期決戦でしたが、私にとっては長き戦いでした。去る4月23日未明、お陰を持ちまして、呉市民の皆様より2,352票のご支持を頂き、晴れて3期目の栄誉を勝ち取らせて頂きました。とは言っても、定数38名中、下から数えて3番目。正に薄氷踏む勝利と申しても過言ではありません。先ずもって、この場をお借り致しまして、厚く御礼申し上げます。

改革の灯を消さなかったことにおいて、先ず素直に感謝すべきでしょう。これで通算3勝1敗となり、私にとって、初めての連続当選です。

想えば8年前、1999年4の月、僅か78票差で苦杯を舐め、一瞬にして天国から地獄に墜とされた悪夢が脳裏をかすめました。ここから這い上がったのは、青春時代に、将棋のプロ棋士養成機関である「奨励会」を脱退した苦しみを体験したからこそです。しかしこの度の

結果で、さすがに2勝2敗となれば、市民からの信用を失います。

さて今回の選挙戦は、広島県議選と併せ、失われた有権者の政治不信を払拭し、如何に信頼を取り戻すかにあったと思います。特に呉市では昨年職員不正採用事件が発覚し、これを避けて通れない事情がありました。政治倫理の確立は、私に与えられた使命だと痛感しています。

平成	当	順	定数	年齢	別	期	得票数	対前期比	投票率	投票者数
7年	当	28	38	38	新	0	1987	—	63%	102512
11年	落	36	34	42	現	1	1724	△263	66%	107459
15年	当	27	34	46	元	1	2173	449	61%	98924
19年	当	36	38	50	現	2	2352	179	60%	123765



▲個人宅での昼間演説会で訴える ▲投票日前に中通商店街で街頭演説

谷本誠一 呉市議、教育経済委員長に就任！

5月18日に開催された呉市議会本会議において、谷本議員は**教育経済委員会委員長**に就任しました。

本ポストは主に、教育、商工、観光、農水関連を所管する、呉市議会内に法的設置された4つの常任委員会の一つである教育経済委員会でのまとめ役です。

不正採用事件を受け、政治倫理条例制定に貢献

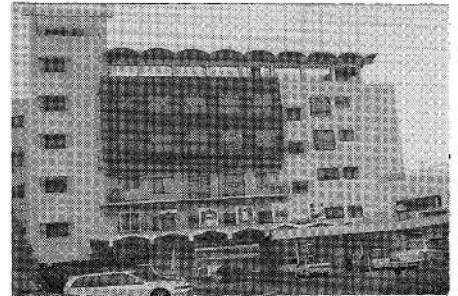
呉市職員不正採用事件を受け谷本議員は、**政治倫理策定作業部会**の委員に就任。最大の論点は、受験得点の改ざん等不正行為の防止に限定するのか、特定の市民を推薦や紹介することまで禁止するのか、ということに絞られました。不正行為さえなければ推薦や紹介は議員の活動範囲の一貫とする意見に真っ向から対抗し、谷本委員の「推薦や紹介が許されるのであれば、いつになっても市民が議員に頼って来る構造がなくなる。それでは不正事件を抑止する土壌が形成されない。」との主張が通って条例案がまとまり、18年11月臨時会で可決されました。

音戸ロッジ再建計画に待った！

音戸ロッジを解体し20年4月オープンを目指し、新築のロッジを民間委託する20年間債務負担25億5600万円が、18年9月定例会に上程。利用料金は民間会社に入り、市には20年間で家賃や固定資産税等固定費として落札額の1.5%（7億3100万円と試算）と、変動費として売上の7%（下限＝5億8200万円と試算）が民間会社から納付される仕組みです。という

ことは、市の実質負担分は12億4200万円で、単年度毎では実に6210万円の赤字となる計算です。

谷本委員は予算特別委員会で、市の負担をゼロに近づけることを要望。これに伴い提出された付帯決議案は19名の賛同しか得られず、過半数に満たなかったため否決されました。



▲19年8月末で廃業するロッジ

癌施設誘致断念し、天応第2期埋立地活用策を



▲活用策が宙に浮いた天応埋立地

天応第2期埋立地に誘致を目指していた、**炭素線癌治療施設**が座礁に乗り上げていることが、平成18年11月議会協議会判明。その要因は資金計画の挫折と人材確保難です。

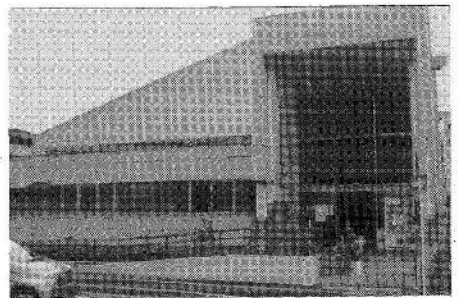
谷本議員は、広島大学の施設計画がまとまるのを5年も待つ余裕はなく、いち早く見切りをつけ、新しい埋立地の活用計画を早急にまとめるべき、と訴えました。

尚、このシーンはテレビニュースで映し出されました。

断水事故、温水プールのシャワー活用策が実現

平成18年8月の**断水事故**を受け呉市は、同月30日、広にある呉市営温水プールにおいて、断水地区住民に限っての無料利用を認めることを決定し、即時実施しました。これは8月28日の議会協議会を受けて、谷本議員が担当部署に要望していた内容を基に呉市が決断した形で、結果的に谷本私案が採用されたことになりました。

また谷本議員は、ホットな断水情報を自身のメルマガとネットサイトを通じて逐次提供し、混乱防止に寄与しました。

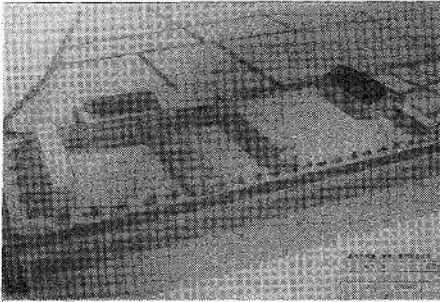


▲谷本提案、広の営温水プール

県市外予防接種、公費助成制度が19年度開始！

呉市では65才以上のインフルエンザ予防接種は、自己負担千円との差額、及び乳児における種々の予防接種は全額を公的助成しています。ところが、市民が市外の老人ホームに入居している場合や、母親が乳児を連れてお産等で県市外の実家に帰省している場合は全額自己負担となっています。そこで谷本委員は、18年11月の決算特別委員会において、県市外でも公平に公的助成が受けられるよう要望し、予算化され、19年度から**広域公費助成制度**がスタートしました。

小中一貫校「呉中央」、校名一元化要請し実現



▲23年度呉中央学園の予想図

呉市では小中一貫校としての名称を決めず、五番町小学校と二河小学校を統合した新設校を「呉中央小学校」とし、既存の二河中学校を存続させることを18年8月4日に固めました。

谷本議員は一貫教育校としての名称を決め、そのことに対応した校歌と校章を定めなければ、二つの校歌・校章が混在し、混乱を招くとして断固反対の意思を表明。学校教育法では、1年生から9年生までの義務教育校は明記されていないため、条例で呉中央小学校と、二河中学校ではなく呉中央中学校として位置づけし、それらを包含する愛称として運用面で「呉中央学

園」と銘打ち、小中一貫教育校の一体感を強化するべき、というのが谷本議員の主張です。これを受け呉市は愛称を「呉中央学園」とし、校歌と校章も一本化する決断を下しました。

飲酒運転等の市職員処分厳罰化を訴え、改定！

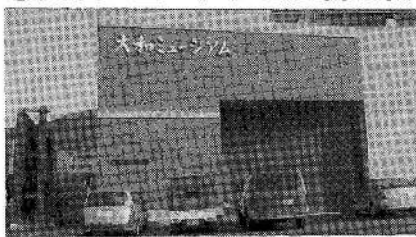
谷本委員が18年11月の決算特別委員会で飲酒運転を初めとする**道路交通法違反職員に対する処分基準強化**を要望したことが実り、同年12月に呉市は基準を改定し、即実施しました。

この度の新基準では、無免許運転と飲酒運転は、酒酔い、酒気帯びに関わりなく、免職があり得るという厳しいものです。特に飲酒運転検査拒否を除くあらゆる違反項目について、交通事故後の救護または危険防止を怠るなどの違反、即ち措置義務違反を犯した場合は、各事故内容中で、最も重い懲戒処分が課せられることになっており、無免許と飲酒運転では、全てが懲戒免職となります。

更に自転車についても、道路交通法上適用される行為は、車両運転の処分基準に準じることとなりますし、違反をそそのかしたり、幫助したり、同乗したりした場合においても、同様の処分基準にて賞罰委員会で審査されることとなります。

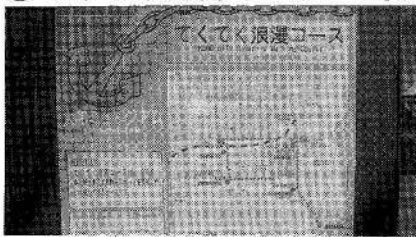
谷本議員、観光施策の細部に亘り度重なる寄与

①大和ミュージアムに新看板



広島方面と松山方面からの観光客に朗報。H18. 12/18～19. 1/9、45万円で2箇所設置。

②てくてく浪漫コースHP化



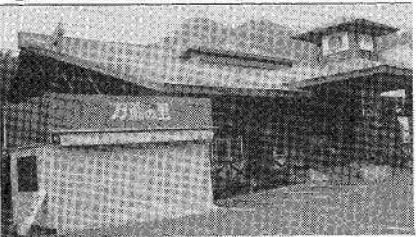
大和ミュージアム～歴史の見える丘～入船山を結ぶ観光コースをホームページで紹介。

③あびの里いつき玄関に新看板



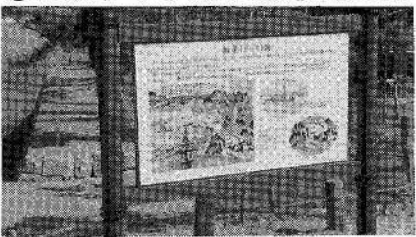
豊浜町の離島・斎島。研修宿泊施設「あびの里いつき」に看板他、トイレ表示や椅子を設置。

④倉橋桂浜観光案内所を新設



閉鎖されていた新「万葉の里」を観光案内と観光ボランティアの活動拠点に有効活用。

⑤桂浜ドック跡に新案内絵図



桂浜の西洋式ドック跡に、案内絵図を移転新設。既存の位置には案内標示板を設置。

⑥「くらはし海の駅」に新看板



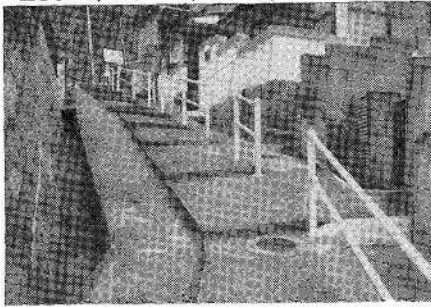
本浦にある倉橋漁港。隣接の桂浜と一体活用される海の駅に看板を新設。クルーザーに朗報。

〔平成18年度〕谷本誠一、迅速で的確な陳情処理！

①東鹿田町、2箇所を手摺りを設置

H18. 4/27~5/6、5/18~22

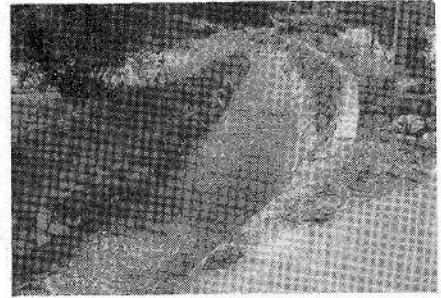
東鹿田町坂道2箇所に手摺りを設置。階段部分の一部スロープ化でバイク通行も容易に。



②郷原町大谷川河口浚渫工事に126万円

H18. 5/18~22

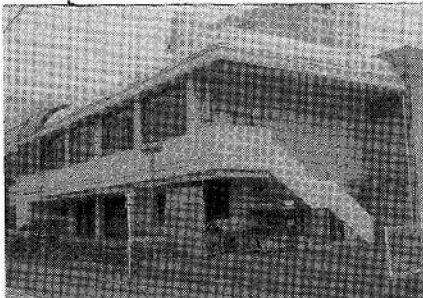
黒瀬川へ合流する大谷川において、田畑への氾濫防止策として2箇所河床浚渫工事を実施。



③二川公民館屋根塗装に外壁工事を追加

H18. 6/8~15

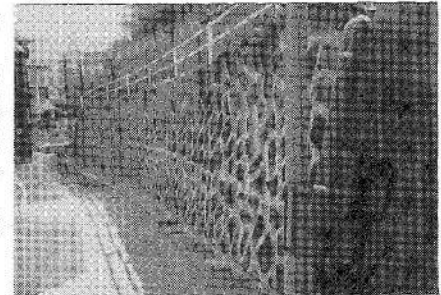
二川公民館の屋根塗装に30万円。6月12日大分県地震での外壁ひび割れに、修復を同時施工。



④山手1丁目市道の雑草・排水対策工事

H18. 7/3~4、8/7~28

石垣の雑草防止対策目地入れ、側溝の底塗り、縦排水管の補修・グレーチング蓋への交換等。



⑤東川原石崩落崖の法面修復に388万円

H18. 7/26~11/10

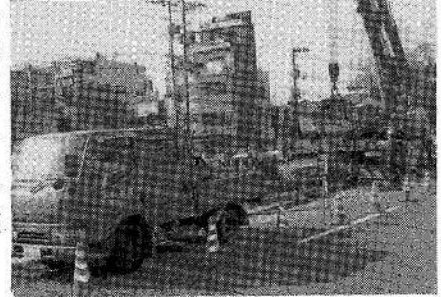
4月12日の大雨による東川原石町の崖崩落に関し、民地寄付による法面補強工事が完成。



⑥今西通り溢水対策2期工事に4200万円

H18. 11~19. 3/20

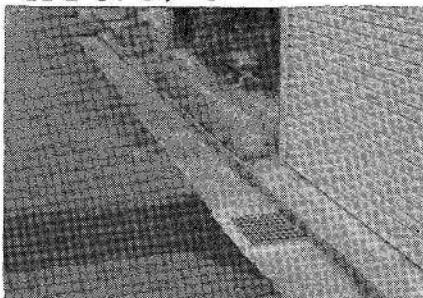
東中央・今西通りへの豪雨時溢水対策で、昨年につき地下への貯水ボックスを建設して完成。



⑦海岸3丁目側溝に雨水排水升を新設

H19. 2/3~5

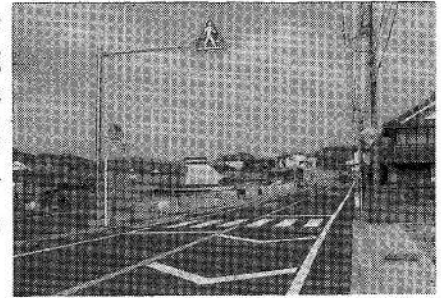
通行障害の要因たる市道路面への滞留雨水を、側溝へ誘導するための排水升を新たに設置。



⑧郷原町国道375号線に横断歩道を新設

H19. 2半ば~26

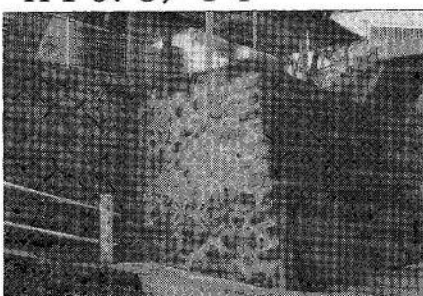
ごみステーションのある郷原10区集会所前に、懸案の横断歩道とそれに付随する設備を新設。



⑨和庄中学体育館下の要壁を補強工事

H19. 3/14

崖崩落を受け、生徒の身の安全のため緊急に他の予算を流用、補強工事を8万7千円で施工。



⑩上平原町19地区急傾斜対策に4300万円

H19. 3/17~9/10

崩落被害予想対象を10世帯に拡大することで県施工が決定。3ヶ年計画で第1期工事を着手。

